

# 仕 様 書

## 1 自動販売機の規格及び条件

### (1) 大きさ

設置面積は、貸付面積の範囲内とし、高さは2.0m以内とすること。

### (2) 環境対策

#### ① 省エネ

「照明の自動点滅・減光」、「学習省エネ」、「ピークカット」、「真空断熱材やヒートポンプ採用」など、消費電力量の低減に資する技術等を導入した機種とすること。

#### ② ノンフロン

二酸化炭素又は炭化水素を冷媒として採用した機種とすること。

## 2 遵守事項

### (1) 安全対策

#### ① 転倒防止

「自動販売機の据付基準」(JIS 規格)及び「自動販売機据付基準マニュアル」(日本自動販売機工業会作成)を遵守した措置を講じるものとする。

#### ② 防 犯

硬貨選別装置及び紙幣識別装置のプログラム改変により、偽造通貨の使用による犯罪の防止に万全を尽くすものとする。

また、屋内設置であっても「自販機堅牢化基準」(日本自動販売機工業会作成)を遵守し、犯罪防止に努めるものとする。

### (2) 自動販売機の管理運営

① 設置者において、商品の補充及び変更、消費期限の確認、売上金の回収及び釣り銭の補充並びに自動販売機内部・外部及び設置場所周辺の清掃などを行うこと。特に、5月から10月の施設繁忙期に商品が不足しないよう補充を行うこと。

② 設置者において、専門技術サービス員による保守業務を随時行い、維持に努めるほか、故障時には即時対応すること。

## 3 販売商品の種類等

### (1) 販売品目

お茶、水、炭酸飲料、コーヒー、紅茶、ジュース類の缶又はペットボトルなどの密閉式容器入りの飲料とし、酒類の販売は行わないこと。

### (2) 販売価格

標準小売価格を上回らない価格とすること。

## 4 貸付料

見積もった価格とする。

## 5 電気料等

設置者が自ら設置した専用メーター(計量法(平成4年法律第51号)に基づく検査に合格したものに限る。)により計測した使用量に基づき、北海道財務規則(昭和45年北海道規則第30号)運用方針第205条の17関係の規定を準用して計算した額とする。

## 6 売上手数料

徴収しない。

## 7 売上状況の報告

毎年10月末日及び4月末日までに賃貸借契約に係る前月までの売上状況（月別の販売数及び売上金額）を報告すること。

## 8 費用負担

- (1) 自動販売機の設置、維持管理及び撤去に係る費用は、設置者が負担する。
- (2) 電気等の使用量を計測するためのメーターを設置する費用は、設置者が負担する。

なお、設置にあたっては、北海道の指示に従うものとする。

## 9 貸付場所の返還

契約の解除等により自動販売機を撤去する場合は、原状に回復して道の確認を受けなければならない。

## 10 自動販売機設置に伴う事故

北海道の責に帰する事由による場合を除き、設置者がその責を負う。

## 11 商品等の盗難及び破損

- (1) 北海道の責に帰することが明らかな場合を除き、北海道はその責を負わない。
- (2) 設置者は、商品及び自動販売機が汚損又は毀損したときは、自らの負担により速やかに復旧しなければならない。